



情報 FUKUOKA 第73号

トライ



九州旅客鉄道労働組合
福岡地方本部

発行責任者 岩永 康志
編集責任者 宮路 享

北九州市小倉北区室町3-137-1
NTT (093) 583-3385
JR (091) 4307~4308

【2011 年末手当妥結内容】

- 支給額**
基準内賃金に2.51(支払月数)を乗じた数とする。
- 支払日**
2011年12月13日以降、準備でき次第とする。
- パートナー社員支払月数**
 - 雇用期間5年以上のもの 2.51カ月分
 - 雇用期間3年以上5年未満のもの 1.89カ月分
 - 雇用期間3年未満のもの 1.26カ月分

最近の期末手当妥結状況

	2009(H21)		2010(H22)		2011(H23)	
	要求	実績	要求	実績	要求	実績
夏季	3.00	2.61	2.80	2.43	3.00	2.44
年末	3.00	2.48	3.00	2.48	3.00	2.51
年間	5.09		4.91		4.95	

年末手当 2.51ヶ月で妥結

12月13日以降、準備でき次第支給

年末手当、二・五ヶ月分まで妥結。本部は十一月三十日に会社側とボーナス交渉を行い、「基準内賃金の二・五ヶ月分」との回答を受け、甚だ不満は残るものの、昨年実績より上積みが見られたことなどを勘案し、席上、妥結しました。

本部は、これまでの交渉において、上期の増収増益の決算は、組合員と家族の会社施策に対する協力があつたからこそ達成できたものであり、今後の会社施策に理解・協力を得るためにも、組合員のモチベーションには欠かせないこと、これまで期末手当には業績を反映させてきたことを重視し、2期連続の増収増益は事実であり、期末手当は業績見合いに反映させるべきであるとの主張を繰り返して行ってきました。

これに対し会社は、新幹線全線開業で収入は伸びているが、リーマンショック等の減収は未だに戻っていないことや、税制特例の今後の取扱いも不透明であり、会社の経営状況は予断を許さない状況であるとの厳しい姿勢を崩さず、交渉は難航。会社の考えは要求との乖離が大きく、受け入れは困難であると判断。十二月九日の支給日を延期し、交渉を継続してきまして、このようになか、十一月三十日に会社より「基準内賃

また、五十五歳以上の社員に対する加算措置について会社は、加算措置を設けることは難しいとの姿勢を崩さず、要求の実現には至りませんが、今後とも春季生活闘争など機会を捉えながら、五十五歳以上の基本給支給率引き上げに向け、取組みを強化していくこととしています。

引き続き、取組みを強化

また、五十五歳以上の社員に対する加算措置について会社は、加算措置を設けることは難しいとの姿勢を崩さず、要求の実現には至りませんが、今後とも春季生活闘争など機会を捉えながら、五十五歳以上の基本給支給率引き上げに向け、取組みを強化していくこととしています。

昨年実績を0.03カ月上回る

会社側に申し入れ

=24春 ダイヤ改正計画概要= 乗務員の運用持ち替えや教育関係など

福岡地方本部は11月15日、会社に対し「平成24年春ダイヤ改正にかかわる計画概要について」に対して申し入れを行いました。

申し入れでは、来春ダイヤ改正における会社の考え方をはじめ、ゆふ・ゆふいんの森号の運転区間の一部見直し、乗務員の運用持ち替えや、それに関わる教育・訓練等の計画など、数項目に渡り申し入れを行います。今後交渉を行っていきます。

また、詳細提案(行路・要員等)につきましては、12月12日頃になる予定です。

JR九州労働組合福岡地方本部
2011年11月15日

九州旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 唐橋 恒二 殿

九州旅客鉄道労働組合福岡地方本部
執行委員長 岩永 康志

「平成24年春ダイヤ改正にかかわる計画概要について」に対する要求

「平成24年春ダイヤ改正概要」提案について、以下のとおり申し入れるので賛成をもって回答されたい。

- お客様の利便性向上とJR九州の公益性向上の観点から、平成24年春ダイヤ改正における会社の考え方を明らかにされたい。
- 「ゆふ」及び「ゆふいんの森」の運転区間を見直しについて、一部とした見直しを明らかにされたい。
- 運用の持ち替え等と、それに伴う乗務員の負担も発生するのが明瞭にされたい。
- 教育・訓練等の計画について、実施期日と期間を明確にされたい。
- 乗務員の削減で、87系の3両編成が新たに製作されるが1両編成された新車両に使用する、乗務員に必要とする社員に対する教育計画は考えていないのか明瞭にされたい。

以上

労働組合の役割を学ぶ

ニューメンバーズセミナー開催

北・南地協

福岡地方本部は、九月十七日に北九州地区で、十一月十二日に福岡地区において「2011ニューメンバーズセミナー」を開催しました。このセミナーは、今年度入社した組合員を対象に毎年開かれるもので、福岡・北九州の両会場とも多くの新規組合員が集まりました。

セミナーでは、福岡地方本部委員長がJR九州における労働組合の状況や、労働組合が担っている主な役割、人事・賃金制度や安全確保に向けた取り組みなどについて講義を行いました。

また、労働金庫や交通共済から講師を招き、ろうきんの概況や取組みと、近年若年層に多く見られるマネートラブル、共済制度のあらましや加入メリットなど、分かりやすい説明がなされ、参加者からはメモを取ったり、時折うなずく姿も見られました。セミナーに参加した男性組合員からは「セミナーを受講して、考えていたよりも、労働組合が多くのことにと取組んでいることに驚いた。組合と聞いて堅いイメージがあつたが、イメージが払しょくされ、いい勉強になった」と、うれしい意見も聞かれました。

福岡地方本部では、今後も新規組合員が参加しやすく、分かりやすいセミナーを目指して取組んでいきたいと考えます。参加された新規組合員のみならず、ありがとうございました。



セミナーには多くの新規組合員が集まりました。

あんしん切符に加入しよう

Cコースの方はRコースへの切替えを

現在「あんしん切符」の加入受付中です。今回、現行のCコースが廃止され、新たにRコースが設けられました。Cコースに加入されている方は、Rコースへの切替えを行いましょ。また、他のコースに入っている方は、上位コースへの切替えを検討してみたいかがでしょうか。詳しくは、分会の役員までお尋ね下さい。

ノースサイド

プロ野球日本シリーズは、福岡ソフトバンクホークスが中日ドラゴンズを4勝3敗で破り、8年ぶりの日本一となった。交流戦、レギュラーシーズン、クライマックスシリーズ、日本シリーズ制覇と史上初の完全優勝を果たし、2011年のシーズンを最高の形で締めくくった。

前年のダイエー時代を含め、8年ぶりの日本一に地元福岡をはじめ、九州中が盛り上がった。優勝が決まった第7戦のTVの最高視聴率は、北部九州で六十二%という驚異的な数字を叩き出すなど、九州のホークスファンにとっては、待ちに待った日本一であった。▼今年のホークスは、投打がかみ合い、打撃・投手成績ともに、ほとんどの部門で1位となるなど、日本シリーズもホークス圧倒的優位との予想で始まった。しかし、ふたを開けるとドラゴンズの投手陣に押さえ込まれ、第1戦、第2戦と地元で連敗、敵地で3連勝したものの、第7戦までもつれ込む接戦となるなど、非常に見応えのあるシリーズであり、短期決戦の難しさを象徴するシリーズでもあった。

▼史上初の完全Vを果たしたホークス。これからFAを含め、選手が動きが気になるところではあるが、虎党の私としては、来シーズンはホークス対タイガースで日本シリーズを戦い、タイガースに二十七年ぶりの日本一になってもらいたいものである。